

提出日： 2026 年 4 月 1 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
文学部	准教授	木村 明日香

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。	
	1. 2025年4月 1日 ～ 2026年3月31日	1
	2. 2025年9月 1日 ～ 2026年8月31日	
	3. 2025年4月 1日 ～ 2025年9月20日	
	4. 2025年9月21日 ～ 2026年3月31日	
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。	
	シェイクスピアが座付き作者を務めた宮内大臣／国王一座の劇団史・俳優の伝記研究を実施した。特に幹部俳優ジョン・ヘミングスが食料雑貨商組合に徒弟登録した少年俳優たちに関する史料の再検討に取り組み、関連史料の収集・整理・論文執筆を進めた。2025 年 5～8 月、ロンドン大学 UCL 英文学科に客員研究員として滞在中、ギルドホール図書館やナショナル・アーカイヴスなどの公文書館で調査を行った。また、英文学研究所(Institute of English Studies)のパレオグラフィコースに参加し、古文書の読解・分析に必要な知識と技能を養ったほか、各国の研究者との交流を行った。	
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。	
	先行研究が見落としていたジェイムズ・ホーンの記録を発見し、彼がヘミングスの徒弟であったことを明らかにした。また徒弟記録上の二種類の日付、すなわち契約日 (date of contract) と組合理事への提示日 (date of presentment) を区別し、ホーンを含む 11 名の少年俳優について情報を整理し直した。これにより、少年俳優の活動期間と徒弟登録の関係をより厳密に捉えることが可能になった。以上の成果は “James Horne: Another Apprentice of John Heminges” として <i>Notes and Queries</i> に掲載予定 (Advance Article はオンライン公開済)。また 2025 年 10 月 11 日の第 63 回シェイクスピア学会で「食料雑貨商組合の史料にみるジョン・ヘミングスと少年俳優たち」と題する口頭発表を行った。	
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。	
	今後はジョン・ヘミングスの前歴、とりわけ彼が女王一座に所属していた可能性について、今回の調査で得られた知見を手がかりに検討を進めたい。具体的には、ヘミングスの親方の死後、その妻がジョージ・ランドールという人物と再婚していたことが判明した。彼は金細工商組合の組合員であり、トランペット製造に従事したほか、宮廷音楽家でもあった可能性がある。この人物を媒介として、ヘミングスと女王一座との接点を示す新たな糸口が見いだされる可能性がある。これと並行してジェイムズ一世時代の戯曲における不妊表象の研究とアン・ターナーという死刑囚の研究を行い、2026 年 5 月の日本英文学会シンポジウムでの発表原稿と論文を執筆したので、この公表も行う予定である。	